

吉田町吉田地区 組合交渉過程の公開について

Q400

職員組合交渉の公開が必要ではないか。ユニークな行政手法としても取り組むべきと考える。

A：これまでの労使交渉の長い歴史もあり一方的に出来ることではありませんが、透明性の確保に努めます。
(市長)

掛合町掛合地区 総合センターの公用車庫について

Q401

総合センターの裏には公用車庫が10数台分あるが、現在どのように使われているのか。使われていないスペースがあれば、民間からの希望で貸し出しは可能か。

A：合併後、公用車が減り、2台分は空いています。他の空いている部分は資材置き場として使っています。
貸し出しについては、規程などを設ける必要があるので、要望があれば今後検討します。(掛合総合C)

*4台収納車庫(シャッター付)3棟と5台収納車庫1棟がありますが、それぞれの車庫内に間仕切りがないため、管理上、棟(4台スペース)ごとに空かなければ貸し出しが出来ない旨、質問者に説明し了解を得ました。

掛合町松笠地区 ガソリン高騰について

Q402

最近のガソリンの高騰で、大変困っている。我々田舎のものは、車はひとり一台使用するし、草を刈れといわれれば、それでも使う。農業でも燃料代はかなり使う。市からもガソリンの価格を下げることを、国などへ要望等して欲しい。

A：頑張っって自衛対策をするしかないと思います。ヨーロッパなどでは240円というところもありますし、そこまでいくことも考えられます。すぐにはできることはありませんが、ガソリン以外のものを使用するという対策もあります。

バイオマス燃料や太陽光発電など、化石燃料に変わるエネルギー開発の必要があります。みんなで我慢して乗り切りましょう。(市長)

加茂町(中村昭和星野雲並・東谷・砂子原・中村団地・東谷団地) 市政懇談会について

Q403:[自治会単位での開催について]

市政懇談会は、行政からの一方的な話のみ。合併前は自治会単位だった。その時は質問等しやすかったが、こういう場だと質問し難い。出かけ易い、質問し易い環境を

A：市全体で33ヶ所開催しており、加茂町に限らずどこの町でも(開催回数が)少なくなっています。
市政懇談会の開催については、自主組織の代表の方で話し合いをしていただいたり、地元で情報を開示しデメリットを解消していただきたいと思います。その分、充実した懇談会にすべく執行部も出かけておりますので理解いただきたいと思います。(市長)

Q404:[出掛けやすい懇談会について]

なぜ(市政懇談会への)出席者が少ないのか考えて欲しい。どうやったら出かけ易いか?意味があるのか、形式的なものになってないか(市も)考えてもらいたい。

A：合併前と比べれば少ないが、加茂町が特に人口の割に他町と比べて開催回数が少ないわけではありませ

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

ん。正直に申し上げますと、他町での出席人数は加茂に比べて多かったです。認識の差があるのではないのでしょうか。

自主組織と総合センターで相談し、回数を決めています。地域自主組織もこの結果を踏まえていただき、お互いが次年度に向けて活かすことができるようにしたいと思います。（市長）

A：グループ単位、自治会単位で市長と懇談できる制度もあります。総合センターへお問合せください。（加茂総合C）

木次町西日登地区 公立雲南総合病院職員の不祥事について

Q405

病院職員の不祥事について話をすべきでは、

A：職員同士のスポーツ交流会で飲酒した際に、職員1名が飲酒運転をしてパトカーから逃走しました。この行為は言語道断でありその職員を懲戒免職としました。タクシーでその職員の車まで送った者についても幫助ということで5人を減給から戒告という処分としました。雲南病院が大変厳しい状況にある中で緊張感が足りないという市民のみなさんから受け取られてもいたしかたない事例であり、管理者としても申し訳ない気持ちで一杯です。改めてお詫びいたします。（市長）

木次町下熊谷地区 寄付金について

Q406

消防、社協、学校などの寄付金を毎年決まって取られるが、名前を変えた税金であると思う。予算を見たわけではないので詳細は解らないが寄付を予算化され、一般行政経費に使われているなら問題ではないかと思う。市として内容を確認し、本当に必要であればはっきりとした裏づけをして対応していくべきと思う。

A：基本的には自治会としてその組織に加入して会費として収めていることと思います。言われるのが寄付なのか会費なのかわかりませんが、通常は、会費としてではないかと思えます。（総務部）

木次町温泉地区 合併して良かったと思うところ

Q407

合併してよかったことといえば、木次町時代にはできなかった他町の人とのネットワークができ色々なことができるようになったことだと思うが、こんなところが良かったと思うことを各部長にお答えいただきたい。

A：業務的に専門的な職員を配置できるようになったことと、4年経過し徐々に財政の方向性も見えてきたことです。（総務部）

A：6町にそれぞれの方式が現存している中で、交流センター化により公民館等の活動に統一化が図れることです。（政策企画部）

A：6町では収納の専門職員がいませんでしたが、市では新しい収納管理課ができ市税等の滞納が少なくなってきました。（市民部）

A：法律がどんどん変わってきている中で専門的職員の配置により対応がなんとかできていることです。また山陰で長寿一番になっていることは嬉しい限りです。（健康福祉部）

A：施策展開では他の市町村に負けていないと自負しています。（産業振興部）

A：継続事業がまだ終わらない中で道路要望は依然たくさんありますが、各町住民による我田引水の発想は徐々に少なくなりました。こうした市民の意識が変わってきたことがひとつ挙げられると思います。（建設部）

A：水道、下水道料金を統一でき、それぞれの町の不公平感はなくなったように思います。また緊急時には、まとまった人数により迅速に対応ができていると思います。（水道局）

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

A：先生と子供がもっと接する時間を設けるために、平成18年に教育支援CDを配置し、「きらきら未来プロジェクト」も立ち上げ、地域CDも各小中学校に配置しました。これからは学校が地域に出かけて、活き活きとした教育をすることが地域の発展にも繋がるのではないかと思います。（教育委員会）

A：合併して4年経過し人員や予算の削減がある中ではありますが、総合センターは地域住民に最も身近なところとしてこれからも住民と密接に関わっていきたいと思います。（木次総合C）

大東町春殖地区 地域自主組織への市職員の参加について

Q408

市職員が自治会では当番制という事もあって自治会長になったり色々な役をされているけれども、振興会になるとなかなか出てこれない。市の方として、例えば自主組織には必ず入りなさいとかいう事が出来るのか出来ないのか。だいたい勤めているという事で逃げられる。そういった時に一番役所の職員さんが一番良く知っていて一番良くできると思うが、そういう体制が出来るのか出来ないのかお尋ねしたい。

A：市の職員と振興協議会の関わり。これについては積極的に地区の自主組織に参加するようにという事で部長会等を通じて職員に話はしておりますし、伝わっていると思います。

市職員の参加の実態ですが、地域自主組織の事務局に市の職員が配置されていたり、専門部、生涯学習部とか福祉部とか色々ありますが、この地域にも部が複数あるわけですがその部に市の職員がそれぞれ配置されているところもあります。それは各地域・自主組織でお考えになって市の職員に呼びかけてそういう体制を作って一緒に活動されているという部分もあります。

先ほど振興計画の話が出ていましたが、振興計画策定にあたっては色々アンケート調査あるいは聞き取り調査等されるとは思いますが、そういう部分の集計作業等、市の職員がパソコン等熟達していますので実質の活動をしながら地域の振興計画の一角を担う、そういう形もやっているところもあります。

今回交流センター構想の中でやって行きますと活動内容がかなり増えてくるのではないかという懸念が出てまいります。そういう意味で、市の職員が交流センター構想の中で、地域自主組織活動にどういう風に関わっていくのか一つの大きな課題となってきますので、そういう意味で関わるような仕組みを私どもも今後考えていきたいと思っております。（政策企画部）

A：職員の件は、これは言うまでも無くしっかり自治会の地域自主組織の構成員となって、とにかく地域のキーになる人材として認めてもらえるように頑張れと言っておりますので、どうか当地域の職員についてはそういう気概を十分持っておりますのでご理解を頂きたいと思っております。（市長）

大東町大東地区 市政懇談会（時間制限）について

Q409

時間制限30分では懇談会にならない。住民の皆さんも同じ思いで参加している。時間制限がないようにしていただきたい。

A：ご指摘のとおりで時間制限のつもりはない。毎回、何時になってもいいという思いで臨んでいますのでご理解を頂きたいと思っております。（市長）

大東町大東地区 職員の住民活動への参加について

Q410

雲南社協主催の地域福祉振興大会の意見交換の中で、住民参加の活動に市の職員の顔が見えないという意見があった。ある町の町長は行財政改革で自立していくためには、職員が率先して住民の活動の中に入り支えていくことだと言っておられた。市長さんも接遇日本一を目指すと言われるが、大事なことだと思う。職員が住民の先頭に立つよう市長さんがリーダーシップをとって組織として力を注いでいただきたい。

A：地域福祉振興大会の意見交換では職員の顔が見えないという厳しいご指摘をいただき、深く反省してい

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

ます。

雲南市スタートと同時に職員の待遇の向上日本一、職務の遂行を目指して努力してきましたが、まだまだ市民の付託に答えることができないと感じています。また、市民が主役のまちづくりとして地域自主組織が地域で活動を展開しておられます。職員も地域自主組織を担い、地域で役割を果たさなければならぬと考えています。（市長）

大東町塩田地区 市長の市政運営についての考え

Q411

市長に何うが、市長選に立候補された時に、市長として雲南市をこういうふうにしたいということであるが、挙げられたが、自分の気持ちの中に残っている事がある。それをも覚えておられたら何項目かでも言ってもらいたい。

A：いろいろ申し上げてきていますが、雲南市がスタートする時にまずこれが一番目指さなければならないというのが、まず1番目が「地域の一体化」でした。

2番目が「できるだけ早く財政を健全化させていこう」という事です。

3番目が「徹底した情報公開をやっていこう」という事です。

それが最重要課題であるということを申し上げてきました。それを踏まえて主要施策を展開していかなければならないということで、これは合併協議会のときに「新市建設計画」をまとめましたが、まとめた責任者としてしっかりと実現していかなければならないという事から、5つの主要施策を掲げたところです。

それは、本日お持ちしたリーフレットのとおりにありますが、まず第1が地域自主組織44ヶ所がいち早く設置されなければならないということ、その事によって「市民との協働によるまちづくり」を進めていきたいと思います。

二つ目が「生活基盤の整備」、道路、上水道、下水道、公共交通など定住環境の整備。

三つ目が「安心して暮らすことのできるまちづくり」これは医療、福祉、健康それを中味とする安心して暮らせることのできる施策をしっかりとやっていかなければならなりません。

四つ目が「子育てするなら雲南市」と心底市民の皆さんに思っただけのまちづくり、そのために学校教育の充実、そして学校教育をしっかりと見つめていくためには、学校と地域と家庭が一体となって進めていかなければいけないという意味と、本当にこの地域には素晴らしい文化・歴史がありますから、子ども達がただ学力を高めるだけではなくて、この地域の事を知った歴史・文化をよくわきまえた上で、勉強にスポーツに取り組んでくれる、そんなまちづくりが進められなければならないということです。

五つ目がしっかりと産業振興をやって雇用の場を確保していこうということです。従って先ほどのPTA会長としてのご質問は学校教育に対してどれだけの事を言ったのかという思いがこめられた質問だろうと思いますが、主要施策に掲げて4年間取り組んできたつもりですのでご理解いただきたいと思います。（市長）

大東町久野地区 入札制度について

Q412

商売しているが、3月から入札制度が始った。

学校で使うゴミ袋2～3万円しか買ってもらっていないのに資産書、決算書、納税証明等提出しろと言われてる。申請経費が3,000円程度掛かるが割に合わない。（この制度は）2年で更新とも聞いているが改善について検討してもらいたい。

A：今年から納入者登録制度を導入しました。（この制度を）止めるとは言えませんが、内容を精査し過度の負担にならないように持ち帰って検討します。（総務部）